

1 学年（前期） 美術 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
オリエンテーション	授業のきまりを確認し、きちんと授業を受ける心構えをしよう。
レタリング	明朝体、ゴシック体それぞれの特徴を理解しよう。 見本をしっかり見てていねいに表現しよう。 中心線などを手がかりにして、バランスに注意しよう。
鑑賞	それぞれの作品の良さを味わい、どのようなところが良いと思ったのかなど、自分の言葉で具体的に表現しよう。
グラデーションによる表現	色の混ぜ具合を調節して、色の変化(グラデーション)を美しく表現しよう。 水の量などに気をつけて、はみ出さないようにていねいに着色しよう。
伝えよう大切なこと（ポスター）	伝えたい内容が効果的に伝わるよう、レタリングの文字や図案、配色などを工夫しよう。 レタリングや着色をていねいにしよう。

評価・評定について				
評価事項	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評定に関する観点の割合	25%	25%	25%	25%
評価事項	提出物 授業態度 自己評価シート	授業作品	授業作品 定期テスト	レポート 定期テスト

<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業作品、ファイル、レポートなどの提出物の提出を忘れないようにしましょう。</li> <li>・テストや提出物、作品、授業での取り組みなどがほぼ 100%であれば評定が 9 および 10 となります。また、評価・評定のための資料がほとんど得られなかった場合は 2 あるいは 1 となります。</li> </ul>
--